



職業体験でおとずれた竜野保育園で園児たちとハイタッチする甲佐中学校の生徒たち（竜野保育園）

うたごよみ 文月

〔短歌〕

渡辺幸士選

ポランテアで仲良くなりし児童らは下校の
 たびに声を掛ける 内田乃武子
 雨模様苗床の箱置く最中蛙よ鳴くな雨を降ら
 すな 塚原 暁益
 友逝きて頭の中白き風が吹き鶯の声牙え牙え
 と聞く 松本ぬい子
 ひさびさに螢一匹舞う庭に過去の乱舞を懐か
 しみ居り 上村やす美
 田植え前の準備終わりし田の中に白鷺の群れ
 虫を食べおり 赤星 文子
 店頭の一輪百円を二輪求めきうぶき炊く心豊
 かに 塚本 俊子
 足萎えの吾の眼は右左自在に舞える白き蝶追
 う 森田 房恵
 草の根を掘る手暫く止めさす芋かたばみの優
 しき花に 上村 かず
 鉢巻きを凛々しく締めて競い合う人らの笑顔
 童のごとし 緒方 明美
 湯の宿の溢れ出る湯に浸りつつ体を癒す心を
 癒す 吉永由紀子
 特老の大方の人耳遠く卓囲みても静かに過ご
 す 内山タミエ
 掘り立てのじゃがいもゆでて夕餉には塩だけ
 の味香りも旨し 赤星 延子
 聞き取れぬままに頷く吾に笑むあの人何と
 言ったのだろう 渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士選

〔終わる〕

急いでものんびりしても終わる日々 早 彦喜
 樹々芽吹き春は終わって夏が来る 松本ぬい子
 農作業終わりなき汗日々忙し 伊豆野ヤエ
 若田さん大役終えて無事帰還 古閑チヨミ

〔押す〕

善人の仮面のままで押し通す 清川みどり
 若い人に背中押されて阿蘇旅行 布田 愛子
 後押しを頼むと友が立候補 林 雅之
 失敗の骨は拾うと妻が押す 渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美選

あついい 風呂は天日の沸かしおる みどり
 あついい 北海道で熱射病 千恵
 あついい 化粧して若返らした 梅香
 あついい 聞きしに勝る面の皮 光
 あついい 歳重ねても親心 靖枝
 あついい 川で泳いで痩せました 公美
 あついい 何時どま読んで終うどか 陽子
 あついい 冷たいビール飲もごたる 愛子
 あついい 孫の額がむぞうなげ レイコ
 あついい 指ア耳たぶイまつしぐら 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
 096・234・2447 (内線321)